

鹿児島県奄美大島の北部に位置する「龍郷町（たつごうちょう）」では、島外の修学旅行生を家庭で受け入れる「かんも一れ！たつごう教育民泊」を推し進めています。既に複数の学校の修学旅行先としてに選ばれていますが、さらなる受入体制の強化と情報発信を目指し、私たちと一緒に「龍郷ファン」の獲得に汗をかくてくれる地域おこし協力隊を募集します。

龍郷町とは

鹿児島県と沖縄県のほぼ中間に位置する離島で、奄美大島の北部に位置しています。奄美大島は、加計呂麻島、与路島、請島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島の有人8島で構成する「奄美群島」で最も大きい島で、日本国内では沖縄本島、佐渡島に次ぐ3番目の大きさです。

世界に誇る伝統工芸品「本場奄美大島紬」の代表的な柄である「龍郷柄」「秋名バラ」は本町が発祥の地。長らく本場奄美大島紬を産業としていましたが、和装離れ等を理由に衰退傾向にあります。

現在の主な産業は、宿泊を中心とする観光業です。国内で初めての「環境文化型」という概念で選ばれた「奄美群島国立公園」、徳之島と沖縄県北部、西表島とともに指定された「世界自然遺産」を軸に、アマミノクロウサギを代表とする希少動植物の宝庫など、先人が残し紡いできた自然と歴史にあふれたまちです。

本町は空港と港の中間に位置する立地の良さに加え、買い物環境や病院も充実しています。町外に通う高校生のバス代全額補助等もあり、全国的に少子高齢化が進んでいる中、直近の国勢調査では鹿児島県内の町で唯一人口増加となっています。

教育民泊とは

修学旅行生が、従来のホテルではなく、その地域に住む一般の家庭に宿泊するメニューです。奄美大島への修学旅行は2泊3日が一般的。これまでは2泊ともホテルに宿泊することがほとんどでしたが、教育民泊を通して「島のありのままの暮らし」を体験することで、自然との共生や人との繋がり、地域の文化や歴史に触れる機会を提供します。

これまで、北海道、大阪府、兵庫県から4団体を受け入れています。令和6年10月現在で受入家庭は25世帯あり、本場奄美大島紬の着付け体験や泥染め体験、川でのエビ取り、ナイトツアー、サイクリング、オリジナル缶バッジ作りなど、各家庭で趣向を凝らしたプログラムを展開しています。（時期や人数等によってメニューは変わります）

かんも一れ！たつごう教育民泊とは

受入家庭を中心に、龍郷町の観光関連団体等を含めて「かんも一れ！たつごう教育民泊実行委員会」を立ち上げ、教育民泊の受入を進めています。受入家庭は龍郷町内に住む「おじ」「おば」たち。ひとつ屋根の下で一緒に様々な活動を通して、私たち実行委員会が一番伝えたい「ひと」の魅力に触れていただきます。

協力隊の役割

かんも一れ！ たつごう教育民泊実行委員会の事務局として、受入に関するすべての取組に携わっていただきます。令和6年11月現在、担当の役場職員1人と先輩協力隊1人を配置しています。新たな協力隊員には主に「学校向け」「受入家庭向け」の業務をこなしていただきます。

「学校向け」の業務は①修学旅行の学校誘致（現地に赴いてのセールス等）②学校や旅行会社との調整（事前学習含む）③受入時の同行（事前下見対応含む）④受入後の各種事務処理（主に精算）などがあります。「受入家庭向け」の業務は①受入家庭の募集②受入家庭の宿泊業申請支援（保健所等との調整）③受入家庭との連絡調整（定例会の開催）などがあります。

修学旅行を実施するにあたり、学校側は2年前から動き出しています。「2年後を見据えたセールス」をしながら、

「今年訪れる学校及び受入家庭との調整」を並行しつつ、

「今年訪れた学校の事務処理（精算）」を行います。

求めるスキル

龍郷町内に在住し、普通自動車が運転できる方。加えて、できる限り以下のご対応を求めます。

- ①. 修学旅行誘致では現地を訪問するため、出張が可能な方
- ②. 学校や旅行会社等とのやりとりが発生するため、調整力がある方
- ③. 受入時のトラブルに対応するため、夜間対応が可能な方
- ④. 各種事務処理で Word や Excel を操作できる方
- ⑤. 受入家庭の募集に向けて集落活動にも参加できる方

（募集内容詳細は、龍郷町地域おこし協力隊募集要項に準じます。）

最後に

龍郷町が観光施策として最も推し進めるこの取組は動き出したばかりです。かんも一れ！ たつごう教育民泊実行委員会の一員として、龍郷町の魅力をどんどん発信し、全国の子どもたちとふれあい、たくさんの「龍郷ファン」が生まれてくれるとうれしいです。

歴史を知り、自然に触れ、人と繋がる「教育民泊」。このやりがいのある活動に少しでも興味関心を示していただけただけなら、その一歩を踏み出してみませんか。

かんも一れ（！ようこそいらっしゃい！）

未来の龍郷町地域おこし協力隊の皆様のご応募をお待ちしております